

## 特長

1. キャリバーH021、H022は、時刻やカレンダーの他に世界主要都市の時刻を表示するワールドタイム（標準時刻・夏時間）1/1000秒単位で計測可能なクロノグラフ機能（100時間計）を合わせ持ったコンビネーションクォーツです。  
クロノグラフ機能とはストップウォッチ機能の意味です。

### アナログ部

- 時刻表示機能
- 3針（時・分・秒）
- ボタン操作により時刻を修正します。

### デジタル部

- 時刻・カレンダー（ホームタイム）表示機能
- 月の大小や、うるう年でも修正不要の「フルオートカレンダー」（1994年～2043年）機能付です。

### 「ワールドタイム機能」

- 都市名（28都市をフルスベル表示）時刻、日、ホームタイムとの時差を表示し、自動的に標準時刻と夏時間を切り替える（オートサマータイム）機能付きです。
- 選択した都市の時刻をワンタッチでホームタイムの日時へ転送できる転送機能付きです。

### 「クロノグラフ機能」

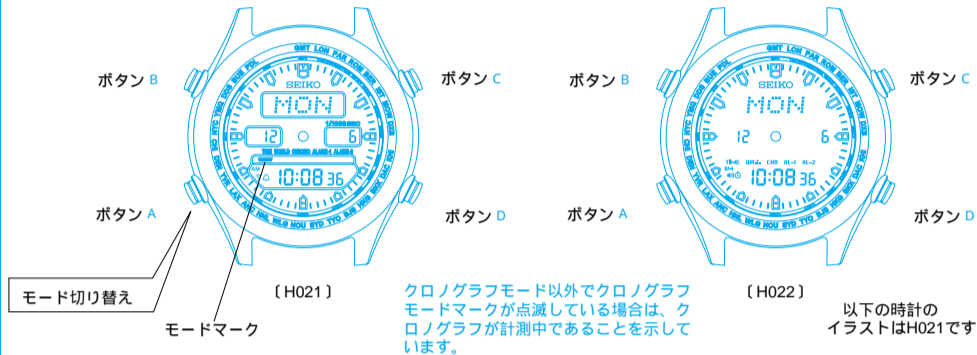
- 1/1000秒単位で計測ができ、スプリット計測も可能な100時間計です。

### 「アラーム機能」

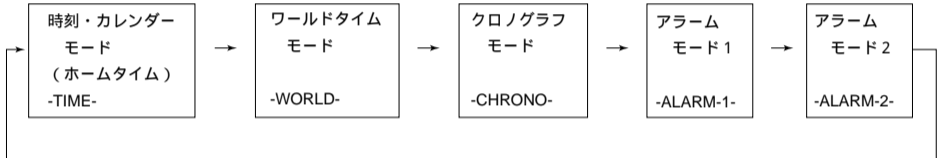
- 2チャンネル（ch）のワールドタイムアラーム機能付き、各ch、アラームのon/off（セット/解除）切り替えができます。

## ボタンの名称と表示の切り替え

2. 例：時刻・カレンダー表示（ホームタイム）



ボタンAを押すごとに、つぎの順序で切り替わります。



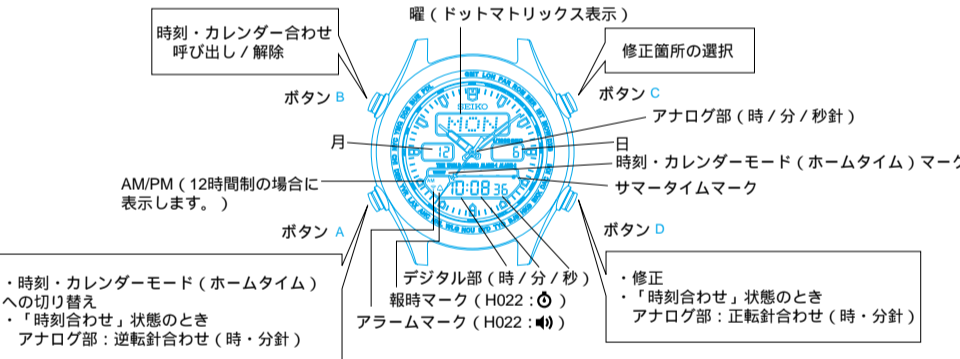
報時・操作確認音がセットされていますと、モードを切り替えるごとに「ピッ」と鳴ります。「アラームモード・2」から「時刻・カレンダーモード」に切り替わる時のみ音が違います。（操作確認音については、「3・4・アラームの使いかた」を参照してください。）

## 製品の説明

- 3・1. 時刻・カレンダー（ホームタイム）の合わせかた

アナログ部の秒針は、デジタル部の「秒」と連動して動きますので、先にデジタル部を合わせてください。時・分針がじやまをしてデジタル部が見えない場合は、時・分針をずらしてから合わせてください。（(2)・ をご参照下さい）

- (1) ボタンの名称とはたらき



ドットマトリックス表示：マトリックス状（格子状）に配列した多数の点（ドット）の点滅の組み合わせにより数字・文字や形を表示することです。  
スクロール表示：ドット表示を帯状に連続配列し、表示が右から左へ、または、左から右へ電光ニュースのように切れ目なく流れて表示することです。

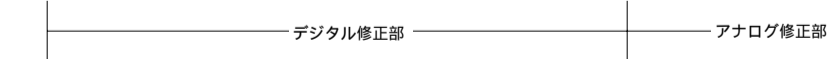
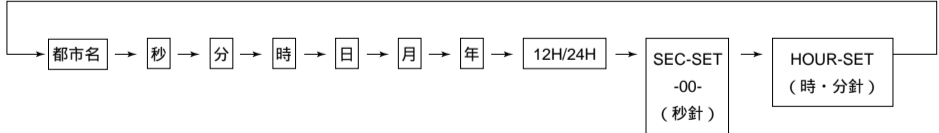
- (2) 時刻・カレンダー（ホームタイム）の合わせかた

ボタンAを押して「時刻・カレンダーモード（ホームタイム）」にしてください。  
ボタンBを2～3秒間押し続けると、3時、6時、9時間のデジタル表示が消え、12時間制の都市名が右から左へスクロール表示し、「時刻・カレンダー合わせ」状態になります。この状態で、ボタンDを押して使用する都市の選択をします。

「時刻・カレンダー合わせ」状態にしますと、アナログ部の秒針が罫等（00秒）し、分針は補正のため流れ方向に動く場合があります。

- (例) 東京を選択している場合：ドット表示の所が「TOKYO」とスクロール表示します。ボタンCを1回押すごとに次の順序で合わせたい箇所（点滅部）を選ぶことができます。年月日をセットすると「曜日」は自動的に設定されます。

ボタンCを押すたびに修正箇所が替ります。



「秒」を点滅状態にし、時報と同時にボタンDを押すと「00」秒に合います。秒表示が30～59秒のとき、ボタンDを押すと1分繰り上がり「00」秒に合います。時刻合わせは、電話の時報サービス（日本の場合はTEL117）が便利です。

ボタンCで合わせたい箇所（修正箇所）を点滅させたあとボタンDを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。（「秒」「12H/24H」「SEC-SET」「HOUR-SET」を除く。）

ボタンCを押し続けると、早送りできます。

デジタル部が合わせ終わりましたら、ボタンCを押して「アナログ部の修正状態（秒針）」

にします。ボタンDを押して秒針を12時の位置に合わせます。

ボタンCを押して「アナログ部の修正状態（時・分）」(HOUR-SET)にし、「デジタル部」の時刻に、ボタンA・Dを使って「アナログ部」の時刻（時・分針）を合わせます。

ボタンA：逆転（反時計方向）への針合わせ  
ボタンD：正転（時計方向）への針合わせ

ボタンA・Dは1回押すごとに分針が10秒ずつ動きます。押し続けると早送りできます。「時刻・カレンダー合わせ」が終わりましたら、ボタンBを1回押して「時刻・カレンダーモード（ホームタイム）」にもどしてください。押し忘れた場合でも2～3分後には「時刻・カレンダーモード（ホームタイム）」へ自動的にもどります。その後、表示は、1～2分後に「時刻・カレンダー」表示より「時刻・月」が消え「日・曜日」が表示されます。

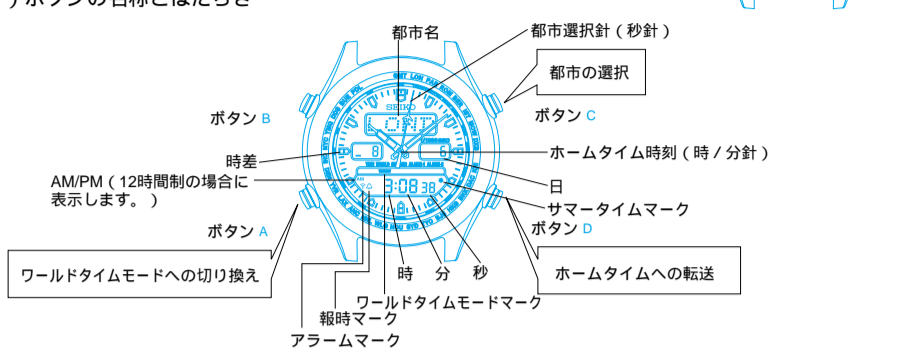
ホームタイムを確認したいときは、ボタンDを押すことにより秒針がホームタイムを示します。再度ボタンDを押すことにより秒針は通常の秒表示に戻ります。

デジタル部（4ヶ所）を表示したいときは、ボタンA・B・C・Dいずれか1つのボタンを押してください。また、アラーム（ON）・報時（ON）のいずれかが鳴ったときもデジタル部（4ヶ所）は、表示します。カレンダーは1994年から2043年までの年・月・日がプログラムされているので、この間、月の大小やうるう年でも修正する必要はありません。報時機能については、3・4「アラームの使いかた」を参照してください。

時刻修正の途中で「全点灯表示」になることがありますが、故障ではありません。ボタンCとボタンDが同時に押された状態です。その場合は、A・B・C・Dいずれか1つのボタンを押して、「時刻・カレンダーモード（ホームタイム）」にもどしてください。つぎにあらためて、上記の から合わせ直してください。

- 3・2. ワールドタイムの使いかた

- (1) ボタンの名称とはたらき



- (2) ワールドタイムの使いかた

ボタンAを押して「ワールドタイムモード」にしてください。ボタンCを押して時刻を知りたい（表示させたい）都市に秒針を合わせます。右から左へ2回スクロール表示し、3回目に表示が止まり頭からの4文字を表示します。夏時間法を採用する都市については、下記の条件にしたがい自動的に時刻を切り換えます。

No.	都市名	サマータイム開始期日・時刻	サマータイム終了期日・時刻
1	ロンドン、パリ、ローマ、ベルリン、アゾレス諸島	3月 最終日曜日 AM 2時	10月 最終日曜日 AM 2時
2	モスクワ、イスタンブール	3月 最終日曜日 AM 2時	9月 最終日曜日 AM 2時
3	アンカレッジ、ロサンゼルス、バンクーバー、デンバー、シカゴ、ニューヨーク、モントリオール	4月 第1日曜日 AM 2時	10月 最終日曜日 AM 2時
4	シドニー、ヴェノスアイレス	10月 最終日曜日 AM 2時	3月 第1日曜日 AM 2時
5	ウエリントン	10月 第1日曜日 AM 2時	3月 第3日曜日 AM 2時

サマータイムの開始は、AM1:59:59 AM3:00:00となり、サマータイムマークが点灯します。サマータイムの終了は、AM1:59:59 AM1:00:00となり、サマータイムマークが消灯します。

- ご注意

サマータイムを採用している国では、サマータイム終了日のAM1時からAM2時の間は時刻修正をしないでください。9時間の表示窓に選択した都市のホームタイムに対する時差を表示します。このとき、サマータイムも計算されています。

ボタンDを、1～2秒押し続けると、ワールドタイムの日時がホームタイムの日時に転送されます。このとき、転送確認音を発音し、時・分針が新たに設定された時刻に移動します。時・分針は、移動時間の短い方向に動きます。

転送前の時刻が知りたい場合は、上記の から都市名を選択し、時刻を表示させてください。

- (3) 標準時比較一覧表

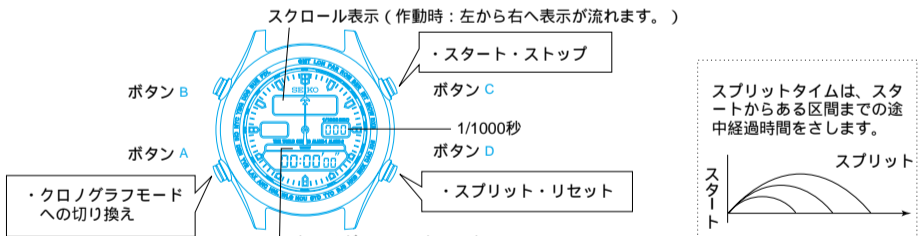
(GMTは、グリニッチ標準時を示しています。+はGMTより進み、-は遅れを示しています。)

No.	ケースに表示された都市略号	GMTとの時差	都市名	都市名	サマータイム有・無
1	GMT	0	GREENWICH	グリニッチ	
2	LON	0	LONDON	ロンドン	
3	PAR	+1	PARIS	パリ	
4	ROM	+1	ROME	ローマ	
5	BER	+1	BERLIN	ベルリン	
6	IST	+2	ISTANBUL	イスタンブール	
7	MOW	+3	MOSCOW	モスクワ	
8	DXB	+4	DUBAI	デュバイ	
9	KHI	+5	KARACHI	カラチ	
10	DAC	+6	DHAKA	ダッカ	
11	BKK	+7	BANGKOK	バンコック	
12	HKG	+8	HONG KONG	ホンコン	
13	BJS	+8	BEIJING	北京	
14	TYO	+9	TOKYO	東京	
15	SYD	+10	SYDNEY	シドニー	
16	NOU	+11	NOUMEA	ヌーメア	
17	WLG	+12	WELLINGTON	ウエリントン	
日付変更線					
18	HNL	-10	HONOLULU	ホノルル	
19	ANC	-9	ANCHORAGE	アンカレッジ	
20	LAX	-8	LOS ANGELES	ロサンゼルス	
21	YVR	-8	VANCOUVER	バンクーバー	
22	DEN	-7	DENVER	デンバー	
23	CHI	-6	CHICAGO	シカゴ	
24	NYC	-5	NEW YORK	ニューヨーク	
25	YMQ	-5	MONTREAL	モントリオール	
26	CCS	-4	CARACAS	カラカス	
27	BUE	-3	BUENOS AIRES	ブエノスアイレス	
28	PDL	-1	AZORES IS	アゾレス諸島	

※一部の都市は、さよりサマータイムは国の時差により変更となる場合があります。また、季節の移り変わりで、年々（仕切り）に時差が変更される場合があります。

- 3・3. クロノグラフの使いかた

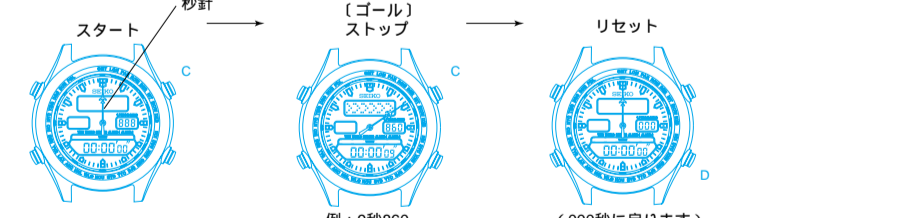
- (1) ボタンの名称とはたらき



ボタンAを押して「クロノグラフモード」にしてください。

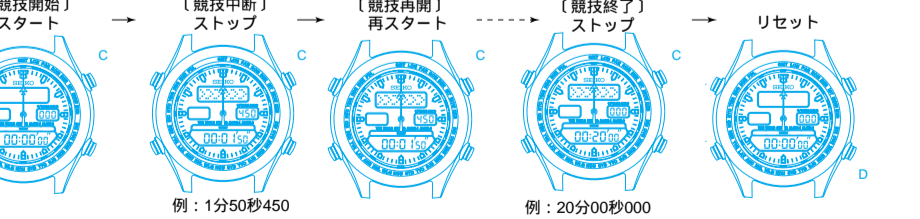
- (2) 普通の使いかた

例：100メートル競争（ボタンを押す順序：C C C D）



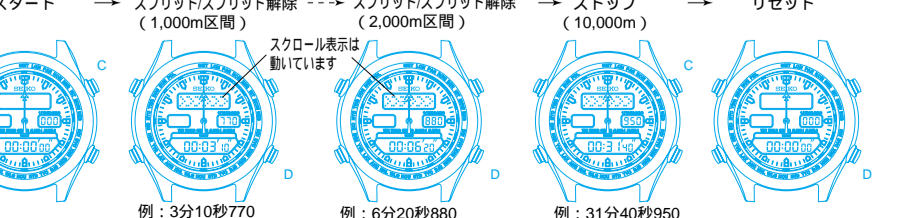
- (3) 時間計測を積算でおこなう場合

例：バスケットボール（ボタンを押す順序：C C C... C D）



- (4) スプリット計測をおこなう場合

例：10,000メートル競争（ボタンを押す順序：C D/D... D/D C D）



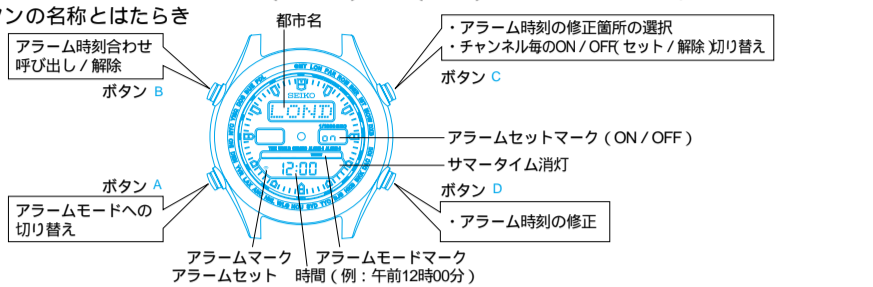
- (5) タキメータ（TACHYMETER）がっている場合

単位時間あたりの時速や出来高などが簡単に測定できます。



- 3・4. アラームの使いかた

- (1) ボタンの名称とはたらき

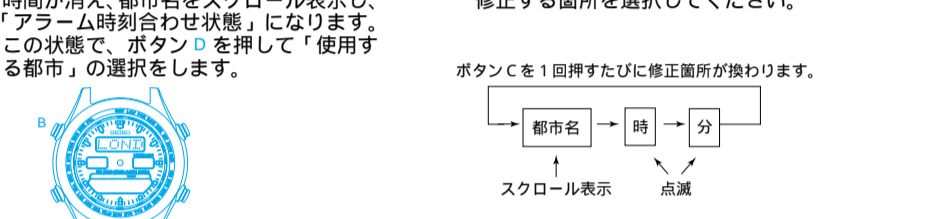


ワールドタイムアラーム：時差の換算をせずに夏時間・標準時間を含めた世界各地の時刻に対してセットできるアラームです。

- (2) アラームの使いかた

ボタンAを押して「アラームモード1」にしてください。アラーム時刻をセットする都市名を右から左へ2回スクロール表示し、3回目に表示が止まり、頭から4文字で表示します。ボタンBを2～3秒間押し続けると、アラームセットマーク・アラームセット時間が消え、都市名をスクロール表示し、「アラーム時刻合わせ状態」になります。この状態で、ボタンDを押して「使用する都市」の選択をします。

ボタンCを1回押すたびに修正箇所が替ります。ボタンCを1回押すごとに次の順序で合わせたい箇所を選択してください。



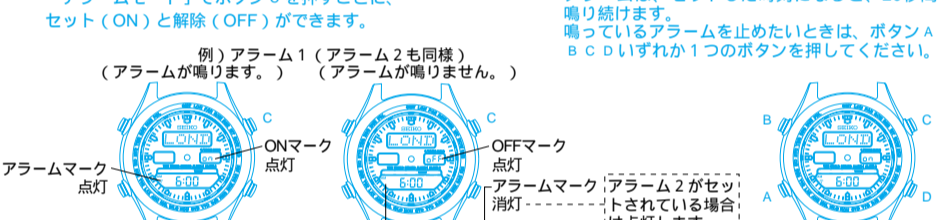
合わせたい箇所を点滅させたあとボタンDを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。ボタンDを押し続けると、早送りできます。12時間制の場合は、AMP（午前・午後）に注意して合わせてください。アラーム表示の12H/24H制は、「時刻・カレンダーモード（ホームタイム）」の12H/24H制に連動しています。

ボタンBを押して「アラームモード」に戻してください。アラームマークとセット（ON）マークが点灯します。押し忘れた場合でも2～3分後には「アラームモード」へ自動的に戻ります。「アラームモード2」を使用する場合は、ボタンAで「アラームモード2」を選択し、- を繰り返してください。

- (3) アラームを鳴らしたいとき、鳴らしたくないとき

「アラームモード」でボタンCを押すごとに、セット（ON）と解除（OFF）ができます。鳴っているアラームを止めるには、アラームは、セットした時刻になると、20秒間鳴り続けます。アラームを止めたいときは、ボタンA・B・C・Dいずれか1つのボタンを押してください。

例：アラーム1（アラーム2も同様）（アラームが鳴ります。）（アラームが鳴りません。）



- (4) アラーム音の試し聴き（サウンドデモンストレーション）と報時並びに操作確認音のセットと解除

「時刻・カレンダーモード（ホームタイム）」でボタンCを押すごとに、報時・操作確認音のセットと解除ができます。ただし、「ワールドタイムモード」では、ワールドタイムをホームタイムへ転送する際の確認音は報時のON/OFFに連動せず必ず発音します。

また、ボタンCとDを同時に押し続けると「アラーム音の試し聴き」ができます。

（例）「時刻・カレンダーモード（ホームタイム）」（報時します。）（報時しません。）

